

「感性・感情・印象」の評価・定量化・モデル化手法と 技術開発への可能性

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250820>

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2025年08月18日(月) 12:30~16:30
- ◆【アーカイブ配信受講: 8/19(火)~8/26(火)】を希望される方は、
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250820A> からお申し込み下さい。
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 早稲田大学 人間科学学術院 教授 博士(理学) 松居 辰則 氏

【習得できる知識】

- ・感性・感情・印象の評価・定量的測定手法の概要と研究事例を知る
- ・感性・感情・印象のモデル化手法の概要と研究事例を知る
- ・感性・感情・印象の評価・定量化への可能性と課題を知る
- ・暗黙知への科学的アプローチの概要と研究事例を知る

【講演の趣旨】

人間は誰しも「感性」をもっており、「感情」を表出したり、「印象」を感じて意思決定や行動選択を行います。つまり、「感性・感情・印象」は人間の人間らしさの本質であるといっても過言ではありません。しかし、「感性・感情・印象」を定量的に捉えることは困難です。一方、情報技術、特に、人工知能技術の発展に伴い、人間と技術の共生の観点からは、様々な技術開発・商品開発においても人間の「感性・感情・印象」を十分に考慮することが一層重要となります。そこで、本講演では、「感性・感情・印象」の評価・定量化・モデル化について研究事例を紹介しながら、技術としての展開の可能性を議論したいと思います。さらに、生体計測による心理状態の推定の可能性と応用や暗黙知への科学的アプローチについても議論したいと思います。

【プログラム】

- 1 感性, 感情, 印象の定量化に向けて
 - 1-1 感性・感情・印象の科学的定義
 - 1-2 感性・感情・印象への情報科学的アプローチ
 - 1-3 感性・感情・印象の評価・定量的測定手法
 - 1-4 感性・感情・印象のモデル化手法
- 2 評価, 定量化, モデル化に向けた測定手法(事例紹介)
 - 2-1 感性・感情・印象への心理学的アプローチ
 - 2-2 印象のマルチモーダル評価
 - 2-3 機械学習を用いた感性のモデル化
 - 2-4 感情表出に関する脳機能モデリング
 - 2-5 ロボットとのインタラクションにおける「感」の共有
 - 2-6 暗黙知への科学的アプローチ
- 3 生体計測による心理状態の推定
 - 3-1 生体計測と心理状態との関係
 - 3-2 教育・学習文脈での心理状態の推定と学習支援の試み
- 4 感性・感情・印象の評価・定量化への可能性と課題

【質疑応答】

『感性定量化【WEBセミナー】』セミナー申込書 < ☐LIVE ☐アーカイブ > ※いずれかにチェックしてください

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>